

# 定 期 作 況 報 告

平成17年8月  
(8月20日現在)

北海道立北見農業試験場

# 1. 気象経過

## 1. 気象経過

7月下旬：最高気温、最低気温、平均気温は平年に比べてやや低かった。降水量は平年より極めて多かった（平年比270％）。日照時間は平年より少なかった（平年比65％）。

8月上旬：最高気温、最低気温、平均気温は平年に比べて極めて高かった。降水量は平年より少なかった（平年比43％）。日照時間は平年並であった（平年比115％）。

8月中旬：最高気温、平均気温、最低気温は平年に比べて極めて高かった。降水量は平年より少なかった（平年比53％）。日照時間は平年並であった（平年比112％）。

以上のことから、この1か月間（7月下旬～8月中旬）は平年と比較して、気温は高く、降水量および日照時間は平年並であった。

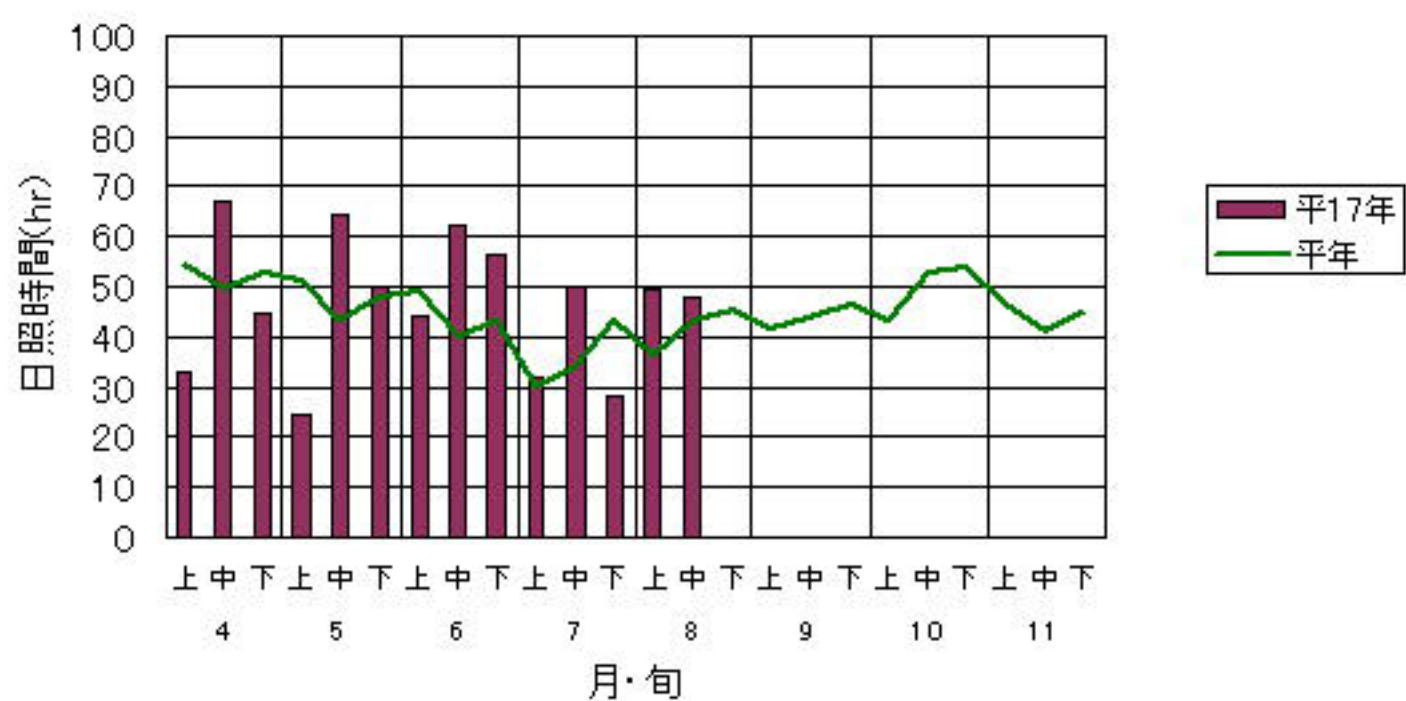
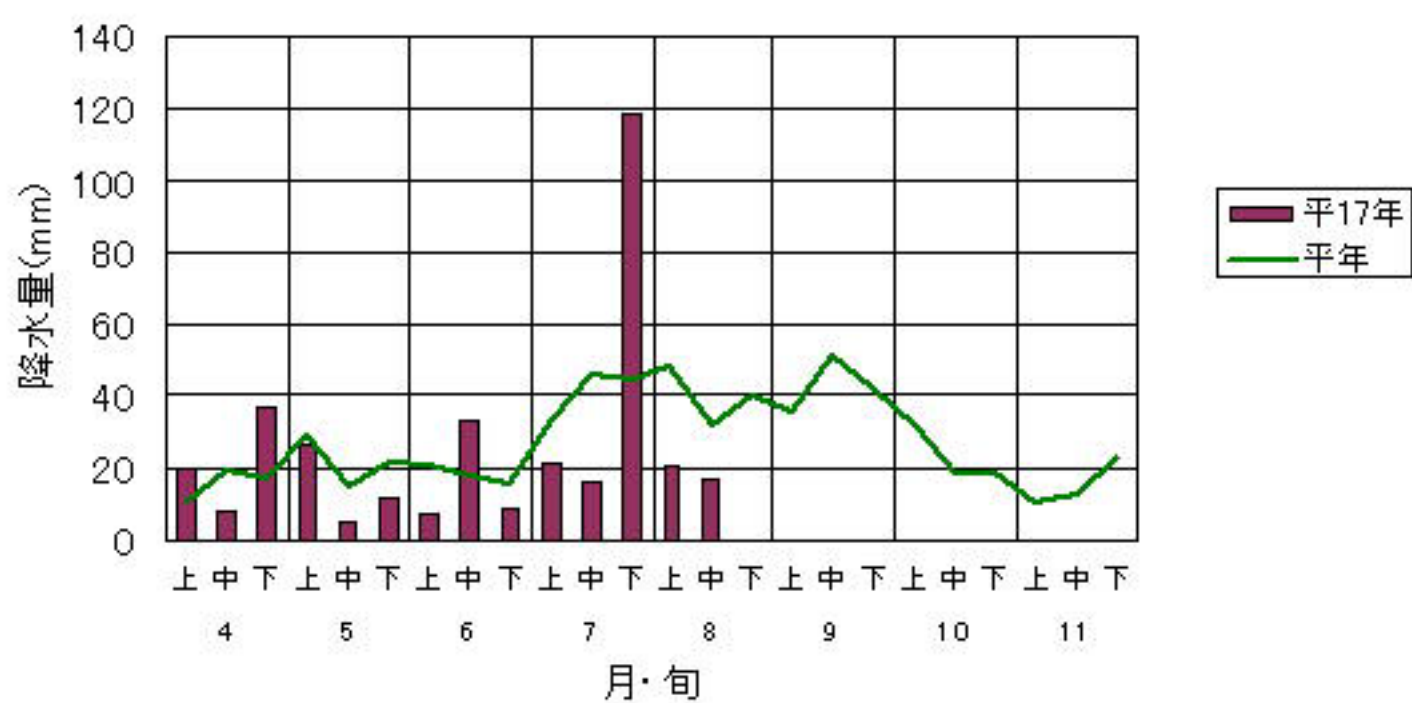
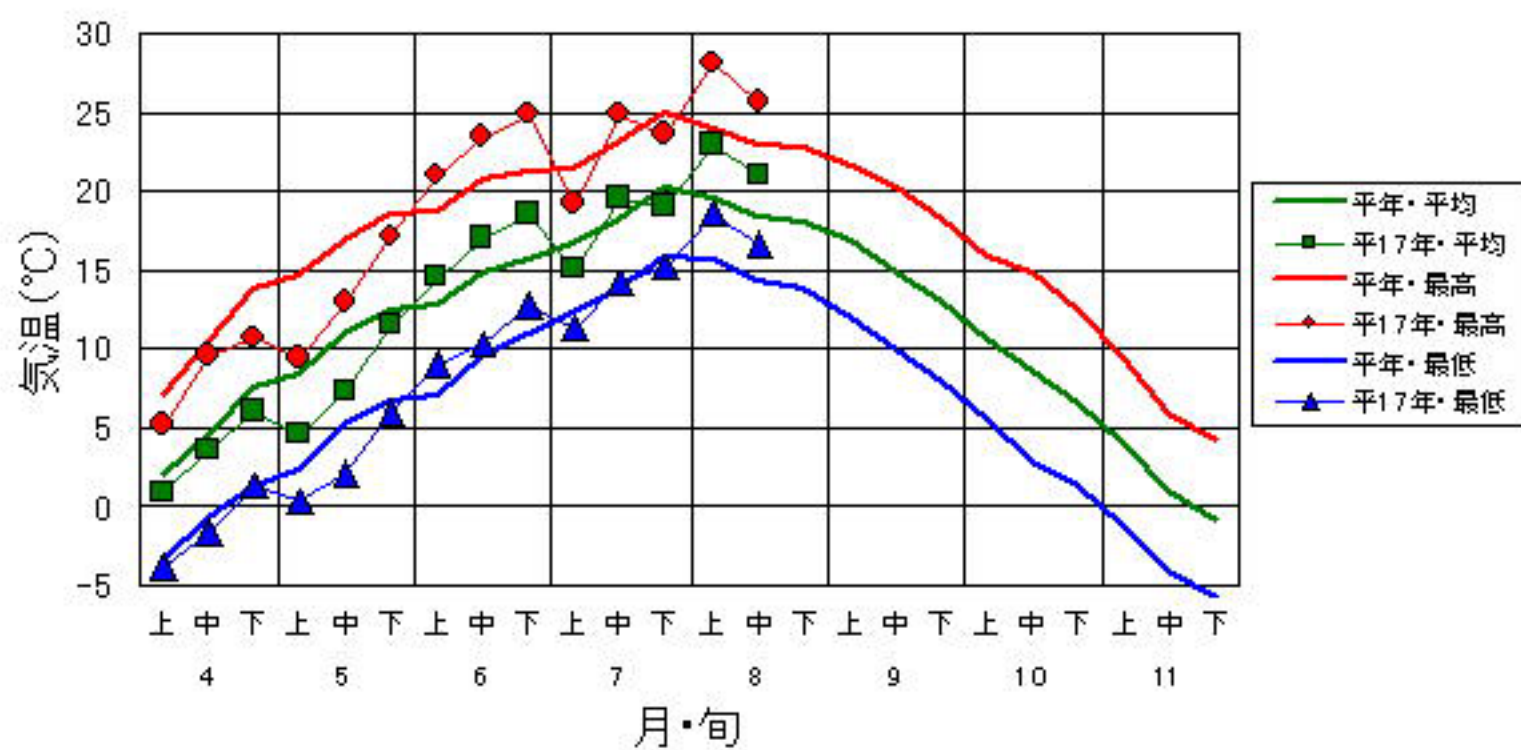
注）降水量、日照時間についての平年値との比較表現は、各旬における過去10年間の出現値の幅に基づいているため、「平年並」に含まれる値の範囲は旬毎に異なる。

気 象 表

| 項 目<br>月 旬 | 平均気温（℃） |      |      | 最高気温（℃） |      |      | 最低気温（℃） |      |      |
|------------|---------|------|------|---------|------|------|---------|------|------|
|            | 本 年     | 平 年  | 比 較  | 本 年     | 平 年  | 比 較  | 本 年     | 平 年  | 比 較  |
| 7 月下旬      | 19.1    | 20.1 | △1.0 | 23.5    | 24.9 | △1.4 | 15.2    | 15.8 | △0.6 |
| 8 月上旬      | 22.8    | 19.5 | 3.3  | 28.1    | 23.9 | 4.2  | 18.8    | 15.6 | 3.2  |
| 8 月中旬      | 21.0    | 18.4 | 2.6  | 25.6    | 23.0 | 2.6  | 16.7    | 14.2 | 2.6  |
| 平 均        | 20.9    | 19.4 | 1.5  | 25.7    | 24.0 | 1.7  | 16.8    | 15.2 | 1.6  |

| 項 目<br>月 旬 | 降水量（mm） |       |       | 日照時間（h） |       |       |
|------------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
|            | 本 年     | 平 年   | 比 較   | 本 年     | 平 年   | 比 較   |
| 7 月下旬      | 119.0   | 44.0  | 75.0  | 28.1    | 43.1  | △15.0 |
| 8 月上旬      | 20.5    | 47.8  | △27.3 | 42.1    | 36.5  | 5.6   |
| 8 月中旬      | 17.0    | 32.2  | △15.2 | 47.9    | 42.7  | 5.2   |
| 合 計        | 156.5   | 124.0 | 32.5  | 118.1   | 122.3 | △ 4.2 |

注） 1）観測値は、置戸町境野のアメダスデータである。  
2）平年値は前10か年間の平均である。



## 2. 当場の作況<sup>注)</sup>

注) 本作況報告は北海道立北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走支庁管内全体を代表するものではありません。

### 1) 秋まき小麦 作 況：良

事 由：収穫期の7月下旬はやや低温、多雨であったため、成熟期は平年より1～4日遅れた。登熟期間は平年より1～6日短かったが、登熟期間中は日照時間が多く、登熟は概ね順調であった。穂数は平年を上回り、穂長が平年より長かったため、1穂粒数は平年より多いものと思われる。また、「チホクコムギ」「ホロシリコムギ」では千粒重が平年より重かった。リットル重は平年を上回り、子実重は平年より多収となった。ただし、7月26、27日の降雨により平年を上回る倒伏が発生し、外観品質は平年より劣っている。

以上のことから、現在の作況は「良」である。

| 調査項目          | タクネコムギ |      |     | ホクシン |      |       | チホクコムギ |      |      | ホロシリコムギ |      |     |
|---------------|--------|------|-----|------|------|-------|--------|------|------|---------|------|-----|
|               | 本年     | 平年   | 比較  | 本年   | 平年   | 比較    | 本年     | 平年   | 比較   | 本年      | 平年   | 比較  |
| 成熟期 (平成17年月日) | 7.22   | 7.21 | 1   | 7.27 | 7.23 | 4     | 7.30   | 7.26 | 4    | 7.30    | 7.28 | 2   |
| 稈長(cm) (成熟期)  | 90     | 95   | △ 5 | 86   | 83   | 3     | 82     | 92   | △ 10 | 92      | 98   | △ 6 |
| 穂長(cm) (成熟期)  | 7.8    | 7.5  | 0.3 | 8.8  | 8.2  | 0.6   | 7.1    | 7.0  | 0.1  | 8.5     | 8.3  | 0.2 |
| 穂数(本/㎡) (成熟期) | 857    | 819  | 38  | 816  | 694  | 122   | 793    | 722  | 71   | 678     | 629  | 48  |
| 子実重(kg/10a)   | 662    | 490  | 172 | 854  | 581  | 273   | 634    | 576  | 58   | 656     | 561  | 95  |
| 同上平年比(%)      | 135    | 100  | 35  | 147  | 100  | 47    | 110    | 100  | 10   | 117     | 100  | 17  |
| リットル重(g)      | 812    | 799  | 13  | 819  | 807  | 12    | 794    | 776  | 18   | 822     | 793  | 29  |
| 千粒重(g)        | 38.0   | 37.8 | 0.2 | 38.3 | 39.2 | △ 0.9 | 39.1   | 36.8 | 2.3  | 45.6    | 43.2 | 2.4 |

注) 平年値は前7か年中、「タクネコムギ」「ホクシン」は平成14年、15年、「チホクコムギ」「ホロシリコムギ」は平成11年、15年を除く5か年の平均。「ホクシン」の播種量は255粒/㎡、その他の品種の播種量は340粒/㎡。

### 2) 春まき大麦 (二条大麦) 作 況：不良

事 由：成熟期は8月5日、登熟日数は32日であり、いずれも平年並であった。倒伏の発生はなく、日照時間も平年並であったため、登熟は良好であった。成熟期における穂長、穂実粒数及び不稔率は平年並であった。しかし、稈長及び穂数は平年を大きく下回っている。また、7月下旬の降雨の影響と思われる遅れ穂が目立った。なお子実は現在乾燥中である。

以上のことから、現在の作況は「不良」である。

| 調査項目          | りょうふう |      |       |
|---------------|-------|------|-------|
|               | 本年    | 平年   | 比較    |
| 成熟期 (月日)      | 8.5   | 8.5  | 0     |
| 稈長(cm) (成熟期)  | 58    | 82   | △ 24  |
| 穂数(本/㎡) (成熟期) | 329   | 568  | △ 239 |
| 穂長(cm) (成熟期)  | 6.4   | 6.4  | 0.0   |
| 1穂粒数 (成熟期)    | 21.0  | 21.2 | △ 0.2 |
| 不稔率(%) (成熟期)  | 1.1   | 1.1  | 0.0   |
| 倒伏程度 (成熟期)    | 無     | 微    | －     |

注) 平年値は前7か年中、平成12年、13年を除く5か年の平均。

### 3) 春まき小麦

作 況：やや良

事 由：8月上旬の気温が高かったため、成熟期は平年より7日早まった。登熟日数が短くなったが、登熟は概ね良好で、千粒重は平年並となり、子実重は平年比110%と多収になった。子実の外観はやや劣った。

以上のことから、現在の作況は「やや良」である。

| 調査項目          | ハルユタカ |      |      |
|---------------|-------|------|------|
|               | 本年    | 平年   | 比較   |
| 成熟期 (月・日)     | 8.5   | 8.12 | △7   |
| 稈長(cm) (成熟期)  | 74    | 85   | △11  |
| 穂長(cm) (成熟期)  | 8.0   | 8.2  | △0.2 |
| 穂数(本/m) (成熟期) | 480   | 501  | △21  |
| 子実重(kg/10a)   | 436   | 395  | 41   |
| 同上平年比(%)      | 110   | 100  | 10   |
| リットル重(g)      | 832   | 795  | 37   |
| 千粒重(g)        | 40.7  | 40.2 | 0.5  |

注) 平年値は前7か年中、平成12年、16年を除く5か年平均。

### 4) とうもろこし(サイレージ用)

作 況：やや良

事 由：8月上旬が平年より高温であったことなどから生育は引き続き順調で、開花期および抽糸期は平年よりやや早く、また草丈、葉数は平年をやや上回っている。

以上のことから、現在の作況は「やや良」である。

| 調査項目           | ディアHT |      |     |
|----------------|-------|------|-----|
|                | 本年    | 平年   | 比較  |
| 開花期 (月・日)      | 8.2   | 8.4  | △2  |
| 抽糸期 (月・日)      | 8.3   | 8.6  | △3  |
| 草丈(cm) (8月20日) | 271   | 257  | 14  |
| 葉数(枚) (8月20日)  | 14.2  | 13.7 | 0.5 |

注) 平年値は前7か年のうち平成10年、16年を除く5か年の平均。

## 5) 大 豆 作 況：良

事 由：主茎長および主茎節数は概ね平年並で、分枝数はやや多い。8 月上～中旬の高温により着莢は良好で、着莢数は「トヨコマチ」が約 2 割、「トヨホマレ」は約 5 割平年を上回っている。  
以上のことから、現在の作況は「良」である。

| 調査項目             | トヨコマチ |      |       | トヨホマレ |      |       |
|------------------|-------|------|-------|-------|------|-------|
|                  | 本年    | 平年   | 比較    | 本年    | 平年   | 比較    |
| 主茎長(cm) (8月20日)  | 59.0  | 61.2 | △ 2.2 | 50.8  | 58.6 | △ 7.8 |
| 主節節数 (8月20日)     | 11.0  | 11.2 | △ 0.2 | 11.0  | 11.6 | △ 0.6 |
| 分枝数(本/株) (8月20日) | 7.1   | 5.6  | 1.5   | 5.6   | 4.7  | 0.9   |
| 着莢数(個/株) (8月20日) | 84.6  | 69.2 | 15.4  | 111.8 | 74.9 | 36.9  |

注) 平年値は、前 7 か年中平成10年、16年を除く 5 か年の平均。

## 6) 小 豆 作 況：良

事 由：8 月上～中旬の高温により「エリモショウス」の主茎長は平年よりかなり高い。また、「エリモショウス」、「サホロショウス」ともに主茎節数および分枝数はやや多く、着莢数も平年を約 3 割上回っている。  
以上のことから、現在の作況は「良」である。

| 調査項目             | エリモショウス |      |      | サホロショウス |      |      |
|------------------|---------|------|------|---------|------|------|
|                  | 本年      | 平年   | 比較   | 本年      | 平年   | 比較   |
| 開花始 (月・日)        | 7.21    | 7.25 | △ 4  | 7.19    | 7.23 | △ 4  |
| 主茎長(cm) (8月20日)  | 73.3    | 55.4 | 17.9 | 49.9    | 46.6 | 3.3  |
| 主節節数 (8月20日)     | 14.4    | 13.1 | 1.3  | 12.1    | 10.9 | 1.2  |
| 分枝数(本/株) (8月20日) | 5.7     | 4.4  | 1.3  | 5.6     | 4.9  | 0.7  |
| 着莢数(個/株) (8月20日) | 44.7    | 33.4 | 11.3 | 61.7    | 46.1 | 15.6 |

注) 平年値は、前 8 か年中平成10年、14年および試験を中止した12年を除く 5 か年の平均。

## 7) 菜 豆 作 況：やや良

事 由：主茎長および主茎節数は平年並であるが、8 月上～中旬の高温により分枝数および着莢数は平年をやや上回っている。  
以上のことから、現在の作況は「やや良」である。

| 調査項目             | 大正金時 |      |     | 福勝   |      |     |
|------------------|------|------|-----|------|------|-----|
|                  | 本年   | 平年   | 比較  | 本年   | 平年   | 比較  |
| 主茎長(cm) (8月20日)  | 41.0 | 40.1 | 0.9 | 44.7 | 42.4 | 2.3 |
| 主節節数 (8月20日)     | 5.4  | 5.4  | 0.0 | 6.0  | 5.5  | 0.5 |
| 分枝数(本/株) (8月20日) | 5.9  | 4.1  | 1.8 | 5.8  | 3.5  | 2.3 |
| 着莢数(個/株) (8月20日) | 25.9 | 21.2 | 4.7 | 24.3 | 19.7 | 4.6 |

注) 平年値は、前 8 か年中平成11年、13年および再播した10年を除く 5 か年の平均。

## 8) ばれいしょ

## 作 況：やや不良

事 由：7月に入り生育が持ち直したことにより、早生の「男爵薯」はいもの肥大が比較的順調に進み、上いも重は平年並であった。中晩生の「コナフブキ」は、7月下旬のまとまった降水によりさらに茎長が伸長し、同化産物が地上部の生育に消費された影響を受け、上いも重は平年比88%であった。また、8月上旬がかなりの高温条件となり、「男爵薯」、「コナフブキ」ともでん粉価の上昇がやや抑えられ、平年を1～2ポイント下回った。

以上のことから、現在の作況は「やや不良」である。

| 調査項目         |         | 男爵薯  |      |       | コナフブキ |      |       |
|--------------|---------|------|------|-------|-------|------|-------|
|              |         | 本年   | 平年   | 比較    | 本年    | 平年   | 比較    |
| 茎長(cm)       | (8月20日) | 43   | 38   | 5     | 81    | 76   | 5     |
| 茎数(本/株)      | (8月20日) | 22   | 3.4  | △ 1.2 | 2.5   | 2.8  | △ 0.3 |
| 上いも重(kg/10a) | (8月20日) | 3968 | 4036 | △ 68  | 3096  | 3607 | △ 511 |
| でん粉価(%)      | (8月20日) | 15.1 | 16.3 | △ 1.2 | 19.8  | 21.9 | △ 2.1 |

注) 平年値は前7か年中、平成10年、15年を除く5か年の平均。

## 9) てんさい

## 作 況：良

事 由：7月下旬の多雨に加えて、高温が続いた8月上中旬にも3から4日おきに少ないながらも降雨があり、日中の葉の萎れ等の乾燥ストレスは殆ど観察されなかった。そのため、前節に続いて生育は順調であり、特に地下部の肥大は平年を大きく上回っている。

以上のことから、現在の作況は「良」である。

| 調査項目      |         | 移植    |      |       |       |      |       | 直播    |      |       |
|-----------|---------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|
|           |         | モノホマレ |      |       | アーベント |      |       | モノホマレ |      |       |
|           |         | 本年    | 平年   | 比較    | 本年    | 平年   | 比較    | 本年    | 平年   | 比較    |
| 草丈(cm)    | (8月20日) | 65.8  | 62.1 | 3.7   | 59.2  | 59.2 | 0.0   | 65.9  | 65.8 | 0.1   |
| 生葉数(枚)    | (8月20日) | 26.0  | 27.8 | △ 1.8 | 25.9  | 26.8 | △ 0.9 | 25.3  | 25.5 | △ 0.2 |
| 生葉重(g/個体) | (8月20日) | 1079  | 876  | 203   | 914   | 925  | △ 11  | 1002  | 925  | 77    |
| 根重(g/個体)  | (8月20日) | 754   | 517  | 237   | 735   | 574  | 161   | 529   | 398  | 131   |
| 根周(cm)    | (8月20日) | 31.5  | 27.1 | 4.4   | 32.3  | 29.8 | 2.5   | 27.3  | 24.5 | 2.8   |

注) 平年値は前7か年中、直播「モノホマレ」は平成11年、16年、移植「モノホマレ」は平成10年、16年、「アーベント」は平成10年、16年をそれぞれ除く5か年の平均。

# 10) 牧草（チモシー） 作 況：不良

事 由：8月10日に収穫した2番草は、再生時に当たる6月下旬～7月中旬が少雨に経過したことなどにより、草丈が平年よりやや低く、乾物収量が平年の71%と少なかった。1番草からの合計乾物収量は771kg/10aで、平年（943kg/10a）の82%であった。  
以上のことから、現在の作況は「不良」である。

| 調査項目         |     | ノサツ  |      |       |
|--------------|-----|------|------|-------|
|              |     | 本年   | 平年   | 比較    |
| 節間伸長程度       | 2番草 | 4.0  | 3.5  | 0.5   |
| 刈取日(月・日)     | 2番草 | 8.10 | 8.6  | 4     |
| 病害罹病程度       | 2番草 | 3.0  | 3.5  | △ 0.5 |
| 草丈(cm)       | 2番草 | 64   | 70   | △ 6   |
| 生草収量(kg/10a) | 2番草 | 858  | 1286 | △ 428 |
| 乾物率(%)       | 2番草 | 23.0 | 22.0 | 1.0   |
| 乾物収量(kg/10a) | 2番草 | 198  | 279  | △ 81  |

注) 平年値は前3か年の平均（耕種概要・調査項目の変更による）。

# 11) たまねぎ 作 況：やや良（参考）

事 由：7月下旬以降気温は高く経過し、適度な降水もあった。このため生育は順調に進み、倒伏期は「スーパー北もみじ」では平年より5日早い8月10日、「改良オホーツク1号」では平年より2日早い8月3日であった。「改良オホーツク1号」は8月11日に根切りを行った。茎葉の生育は旺盛で、葉先枯れ等の被害もほとんどなかった。球重は「改良オホーツク1号」はほぼ平年並、「スーパー北もみじ」は平年を上回っていた。  
以上のことから、現在の作況は「やや良」である。

| 調査項目     |         | 改良オホーツク1号 |       |       | スーパー北もみじ |       |       |
|----------|---------|-----------|-------|-------|----------|-------|-------|
|          |         | 本年        | 平年    | 比較    | 本年       | 平年    | 比較    |
| 倒伏期      | (月・日)   | 8.3       | 8.5   | △ 2   | 8.10     | 8.15  | △ 5   |
| 球生重(g)   | (8月20日) | 225.4     | 228.7 | △ 3.3 | 264.6    | 240.6 | 24.0  |
| 葉身乾物率(%) | (8月20日) | —         | 9.0   | —     | 9.1      | 11.4  | △ 2.3 |

注) 平成15年に圃場を変更したため、平年値は平成15年及び16年、2か年の平均。